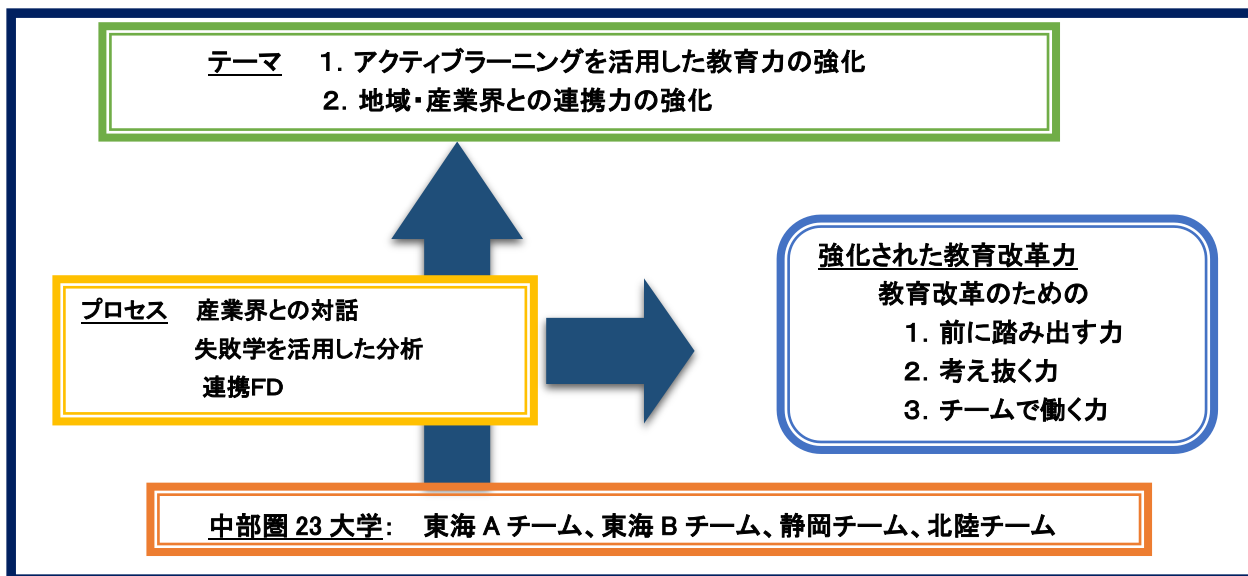


産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業  
【テーマA】教育改善・充実体制整備 最終評価結果

大学グループ名	三重大学グループ
取組名称	中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化
取組テーマ	1. アクティブラーニングを活用した教育力の強化 2. 地域・産業界との連携力の強化
取組担当者	三重大学 学長補佐（キャリア教育担当） 中川 正
連携校名 （★幹事校）	金沢大学、福井大学、岐阜大学、静岡大学、★三重大学、富山県立大学、富山国際大学、金沢工業大学、静岡理工科大学、愛知産業大学、相山女学園大学、中部大学、同朋大学、豊橋創造大学、名古屋産業大学、名古屋商科大学、日本福祉大学、名城大学、金城大学短期大学部、静岡英和学院大学短期大学部、東海大学短期大学部、愛知大学短期大学部、豊橋創造大学短期大学部（計23校）

事業概要

本事業は、中部圏23大学が産業界と対話を行い、産業界ニーズをくみ上げつつ、アクティブラーニングを活用した教育力の強化、地域・産業界との連携力の強化を目指した取組である。中部圏23大学を4つのチームに組織し、テーマの追求の過程で生じる課題を失敗学の手法を取り入れつつ分析し、前に踏み出し、考え抜き、チームで働く教育改革力を強化した。



最終評価結果<総合評価> S

《コメント》

大学と産業界との間で「育成すべき資質」に関する共通理解が深められ、アクティブラーニングを活用した教育力の強化と、「中部産学連携会議」の設立による地域・産業界との連携強化により、成果をあげている。特に「失敗学」の導入が、地理的に離れた23校の連携強化にもつながり、成果を一段と押し上げている。『アクティブラーニング失敗事例ハンドブック』、『インターンシップ失敗事例ハンドブック』の作成は他大学、他グループでも実務者を中心に活用可能な有効な成果物である。支援期間終了後についても、「中部圏教育改革ネットワーク」を設立して更なる教育改善や地域産業界との連携のあり方に関する活動を継続するという点について、当初の計画を越える取組の継続として評価する。実現に向けて更なる取組の強化を期待する。

一方で、企業との真摯な話し合いの進展の過程が見えづらい点や、事業の核とした「失敗学」の分析と、全体テーマとの関係が明確でない点は、改善の余地があり、今後の課題と思われる。また、評価基準及び評価方法をさらに進化させるための課題の明確化が必要であり、設立した「中部圏教育改革ネットワーク」については、今後の具体的な行動計画の策定が必要である。